

2024 年度チャレンジ育英制度 (論文奨励)募集

チャレンジ育英制度論文奨励の応募を

2024年9月9日～9月27日で受け付けます。

今年度の論文テーマは、以下の5種類です。 ※詳細は別紙を参照

- ①『文教大学への提言』
- ②『多様性を認め合う社会を実現するために』
- ③『大学生活を豊かにするスマートフォンとの付き合い方』
- ④『日本再生の切り札となる産業・ビジネスについて』
- ⑤『わが国の食料自給率の向上について』

文教大学生として日頃の研究活動や勉学の成果、体験した意見・抱負を論文として表現することを奨励し、採用者には、育英金(上限10万円)を給付する制度です。

少しでも興味のある方は、越谷学生課または湘南・東京あだち教育支援課HPをご確認ください!

越谷学生課 HP



湘南教育支援課 HP



東京あだち教育支援課 HP



【給付金額】

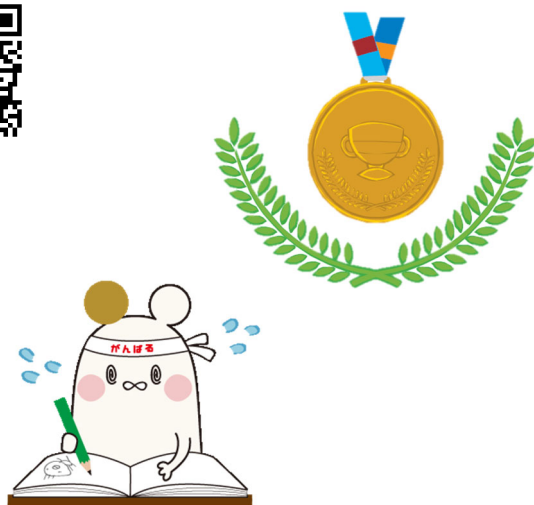
最優秀賞：10万円

優秀賞：5万円

佳作：2万円

努力賞：5千円以内

※採用数は最優秀賞～努力賞まで合わせて10件以内です。



2024年6月28日
文教大学 学生委員会

2024 年度チャレンジ育英制度(論文奨励)論文テーマ

以下①～⑤のテーマから 1 つを選択し、5,000 字程度で論述してください。 ※複数に出願は不可。

①『文教大学への提言』

標記のテーマのもと、現在文教大学に存する課題について論じてください。なお、『文教大学への提言』とは別にサブテーマを設定し、論点は1つに絞ってください。

【テーマの例（課題やトピック）】

サステイナブルなキャンパスづくり、キャンパス間の連携、カリキュラム提案、地域連携や貢献、学生のマナー向上、課外活動参加率の向上など

②『多様性を認め合う社会を実現するために』

多様性について考えるとき、性別や人種のような比較的目に見えやすいものから、価値観や性的指向のように目に見えにくいものまで様々な観点があります。現代社会を生きていくうえで「多様性の尊重」が重要であることは、徐々に浸透しつつあります。「尊重する」と言葉で言うのは簡単ですが、実際に多様性を尊重し、認め合う社会を実現するにはどのようにすればよいでしょうか。1つまたは2つ程度の観点を取り上げ、具体的な方策を述べてください。

③『大学生生活を豊かにするスマートフォンとの付き合い方』

スマートフォンは、インターネットを手軽に利用できるだけでなく、データの記録、決済機能など、紛失すると生活に支障が出るほどの利便性を備えたデバイスであり、その進化は今も続いています。若者の使用時間は特に長く、スマホ中毒と言われる現象すら起きています。そのような中で、スマートフォン利用者として、そのメリットとデメリットの両面を述べ、大学生として豊かな時間を過ごすにはどのようにスマートフォンと付き合いしていくべきかを述べてください。

④『日本再生の切り札となる産業・ビジネスについて』

円安の加速により日経平均株価が過去最高値を記録し、また物価上昇がデフレからの脱却の兆候を示しており、日本経済は失われた 30 年を乗り越え、新しい時代を迎えようとしています。しかし、少子高齢化や人口減少などの構造的課題が依然として存在し、産業全般で人手不足が深刻化しています。これらの課題を克服し、日本の再生に貢献する産業やビジネスのあり方について述べてください。

⑤『わが国の食料自給率の向上について』

昨今、経済安全保障に注目が集まっています。わが国は生活の基礎となる食料自給率が低く 38% (カロリーベース、2022 年) と報告されています。わが国の食料自給率を高めるためにはどのような施策が考えられるか述べてください。

***専門性を問うものではありませんが、必要に応じ、文献などを調べ、論文にまとめてください。**

- ・未発表作品に限ります。
- ・卒業年次生については研究論文-卒業論文と類似のものは認められません。
- ・新聞・雑誌・インターネット・書籍等から文章・考え・データ等をそのまま引用したり、あるいはそれらを自身の言葉でまとめて記述したりする場合は、必ず引用した出典を文中に明記し、文末に出典と対応とする引用文献リストを記載してください。引用したにもかかわらず出典を記載していない場合は、「盗作」とみなされます。

以上